

越後 オニバリ キツ子ノヤ キツ子ノヤリ ハサミグサ ススビト 播州、衣服ニ實ノ著
 ビト、云、イト キツ子ノハリ 同上 モノツキ長州 ラニノヤ 藝州 モノグルヒ 豊前 シ
 ロベトモ云フ、 ヤブヌスビト ヌスビトノハリ 共同
 プツカミ勢州

原野ニ甚多シ、宿子地ニ在リテ春自ラ生ズ、方莖葉ハ棘葉ニ似テ毛アリ、枝葉トモニ對生ス、九月
 ニ至リ、枝梢ゴトニ花ヲ開ク、五瓣淡黃色、大サ四五分、ソノ蒂綠色、形常十八ノ花蒂ノ如シ、花終レ
 バ蒂折キ、五分許ノ細刺多ク毬ヲナシテ、栗ノ彙ノ如シ、是其實ノ熟スルナリ、刺ノ末ゴトニ倒又
 アリ、若シ衣服ニ觸レバ、粘著シテ拔去ガタシ、實熟シテ苗根俱ニ枯ル、又一種大葉ナルモノアリ、
 ハタウコキト云、又一種小葉ナルモノアリ、

増天保年間、蠻種ノ鬼鍼草舶來ス、蠻名ドルレケンブルト云、春月種ヲ下シテ、苗ヲ生ズ、方莖ニシ
 テ高サ二三尺ソノ節紫色ヲ帶ブ、葉莖ニ對生ス、形尋常ノ鬼鍼草ニ似テ、悉ク三葉ニシテ毛茸ナ
 シ、夏月葉間ニ枝ヲ分チ、苞ヲ結ビ花ヲ開ク、五瓣ニシテ白色、大サ四分許、中ニ黃藥アリ、花後實ヲ
 結ブ、長サ四分許、末ニ岐アリ、コレモ衣服ニ著ク、又秋種ヲ下スモノハ、冬ヲ經テ春ニ至テ茂盛ス、

〔武江產物志 藥草〕道灌山ノ產 鬼針草
 〔和漢三才圖會 九十六〕項王草 俗稱本名 未詳

按項王草葉似贅波丁子葉開單黃花結小莢、宿根不生、當年下種即開花、自四月至十月有花、
 子出於

千里及

〔重修本草綱目啓蒙 十五〕千里及 詳ナラズ 一名千里急 泉南雜志 中略

增ハマギグト呼モノアリ、暖國ノ海濱ニ生ズ、蔓長サ三四尺、節ゴトニ根ヲ生ジテ沙上ニ延布ス
 葉互生ス、長サ一寸幅五六分ニシテ、菊葉ニ似テ厚ク、毛茸アリテ糙澀ス、邊ニ鋸齒アリテ菊葉ノ
 缺刻アルニ異ナリ、秋ニ至テ葉間ゴトニ小黃花ヲ開ク、實ハ結バズ、コレ即千里及ナリ、琉球ニテ、